

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

ベイ★キッズ

FREE
2025 SPRING
vol. 056

家庭と防犯

02 | 子ども用見守りGPS
通学路安全マップ
子育てあるある相談室

03 |
まちすき
俳優
はだ一朗さん
身近でできるSDGs
まちをみまもる自動販売機
動物園に会いに来てね
ヤブイヌ
パパと遊ぼう
春のおでかけ編

04 |
こどもと一緒に楽しもう
新生活におすすめの絵本

Credit

スタッフ:東恵子 船本由佳 本田真弓 木下菜穂
ベイ★キッズ みなとくらす
デザイン:川本智子
協力:あそびい横浜
全家研ボビー 公益財団法人 横浜市緑の協会



写真:小野寺香

●編集・発行/ベイ★キッズ編集部[NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南軽井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514
http://baykids.jp info2@baykids.jp * 情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 * 紙面の無断転載を禁じます。

子どもが犯罪に巻き込まれないために

近年、子どもを取り巻く環境の悪化が目立ってきています。横浜市発行「安全・安心ガイドブック」によると誘拐や連れ去りの多くが、子どもが一人で行っているところを狙われているそうです。時間帯は午後3時～6時が多く、学校からの下校中や帰宅途中に、自宅や学校周辺などの身近な地域で犯罪にあっています。



小学校に入学すると今まではどこに行くにも保護者と一緒だった子どもが、家を一人で出て学校に行き、一人で帰ってくることになります。入学前から一緒に行き帰りの道を練習しておきましょう。実際に歩きながら大人目線で感じる危険なポイントについて話し、不安を感じたらどこに助けを求めるのかなどをシミュレーションして伝えましょう。

コンビニや商店や知り合いの家、子ども110番の家なども確認すると良いでしょう。もしもの時に走って逃げる先なども念の為に確認しましょう。

子どもに危険回避の判断できる?

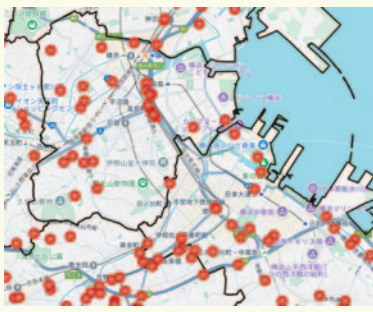
地域の人とのあいさつはした方がよいですが、知らない人との会話の中で危険信号が灯るときがあります。どんなときが危ないのでしょうか。

個人情報を知りてきたとき?別の場所に行こうと誘われたとき?かわいいねと言われたら?どこの学校に通ってるの?お母さんはいつ帰ってくるの?などは地域の人と何気ない会話の中で交わす内容かもしれません。ただ、「この相手ならここまでの会話は大丈夫」「この先は怪しい」など子ども一人では判断はできないと思った方がよいでしょう。

また、親と一緒にの時期に地域の大人と顔を合わせる体験を積み重ね、信頼関係をつくっておくことは大切です。

「こども・安全安心マップ」と「かながわポリス」をチェック!

横浜市では通学路の安全を点検するために防犯情報や小学生・中学生の交通事故の場所や概要をGoogleマップで確認できる「こども・安全安心マップ」を2024年7月にリリースしました。声かけ・不審者情報は、過去1年間の発生概要を町名単位で確認できます。



「声かけ」「不審者」情報が1件以上ある地区が着色されている 引用:Googleマップ

神奈川県警察では公式アプリ「かながわポリス」を2025年2月にスタート。自転車事故、交通事故、不審者、特殊詐欺、犯罪の情報をマップ上に表示でき、最新のピーガルくん安全メール(声かけ・不審者情報)もチェックできます。自分たちのエリアに声かけ事案があったかどうかを把握しましょう。



子育て家庭が取り組める防犯は?ひとり歩き対策と家を守る防犯の2つのポイントでお伝えします。



家のカギ いろいろ情報

子どもが一人でカギを持って出歩くときもやってきます。カギをどう持たせるのかも課題です。キーチェーンにつけてランドセルやカバンに取り付ける、ズボンのポケットの内部に安全ピンで仕掛けをつけるなどなくさないよう工夫をしましょう。

家の鍵にも気をつける点があります。侵入者の約7割が侵入に5分以上かかったら諦めるというデータがあります。補助錠を追加し鍵を複数つける、壊されにくい鍵(CP錠)にするなど、「5分」に耐える状態にしておくことが防犯につながります。

スマートロックも活用しよう

「スマートロック」はスマートフォンなどを使って玄関ドアや門扉の施錠・開錠ができるシステムのこと。遠隔で玄関の鍵の状態を確認できたり施錠できたりするため、子どもの施錠の習慣のために活用することもできます。



ドアに両面テープやマグネットに取り付けられるタイプもあり、家電量販店やネット通販で購入してDIYもできます。

防犯に強い家に住む 防犯に強い地域にする

インターフォンは扉ではなく門扉につける・光と音で接近を知らせる・壊れにくい素材のガラスを使うなど侵入者を拒む家づくりにはノウハウがあります。これから家を購入する可能性がある方は防犯力の高い家づくりの知識を身につけておくとう良いでしょう。

個々が狙われにくい対策をして、犯罪に強い地域を目指していく。根強いそれぞれの対策が、未来の地域づくりのためにきてきます。



2024年から郵便局の車両(バイク2220台、車530台)を活用した「こどもの安全見守り活動」が横浜市内全域でスタート。車両にステッカーを貼り、郵便配達時に異変を発見したときに通報する「緩やかな見守り」を実施します。



取材をさせていただきました
横浜市市民局地域防犯支援課 戸部警察署生活安全課

